



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成29年07月17日 第828号「週刊五十嵐レポート」

今の若い人たち

70歳を越えた女性経営者N氏の話。訪問介護事業をはじめて20年、神奈川県鎌倉市を中心に湘南地域に8ヶ所で経営されている。

介護事業は人が命。人材教育には力を入れている。特に「人間性」「人間力」を育てようとしている。最近の若い人たちの傾向として、「今がよければいい」「将来はわからない」という人たちが多いという。あまり将来のことを考えていない。

N氏は、「今の人は自分を大事にしていない」「自分が生き易いように考え、行動していない」という。ということなのか。

人と衝突したり、トラブルを起こすことが多い。これは、つまり自分を大事にしていないということ。自ら自分を生き辛くしている。どうしたらよいか。

周りに感謝すること。

また、自分に投資(勉強)をしている人も少ない。新聞や本を読むこともない。但し、今の若い人たちにも例外はいる。フィギュアスケートの羽生選手や中学生プロ棋士の藤井さん。礼儀正しく、きちんとした日本語で話をする。勉強していることがわかる。

働くことはつらいこと。生きるため、生活するために働く。余暇を大切にする。家庭を大事にする。このような生き方だと小さくまとまってしまう。

仕事を通して自分を磨く。仕事を好きになる。徹底的に仕事をする。そこから見えてくるものがある。これらを常日頃伝えている。

売上を上げ、利益を上げ、会社を大きくする。それでは人はついて来なくなった。働くことが生きがい。職場を楽しくする。会社の雰囲気明るくする。人を認め合い、社会や仲間とのつながり。これらの「場」作りが中小企業経営者の役割の1つ。

「右向け右」ではなかなか難しい時代。かみくだく。

人を成長させる教育の「場」作りも良い会社の定義の1つになってきた。

ちょっと
気になる出来事

先日、新興建設業の安全大会に参加して1時間ほど話をしました。取引先60社ほど集まっていた。

ハインリッヒの法則。1件の重大な事故の裏には29件のかすり傷程度の軽微な事故があり、300件のヒヤリとしたりハッとして冷や汗が流れる事例が300件潜んでいるということ。

事故をなくすには、300件のヒヤリ・ハットの事例を集め、対策を立てて、未然に防ぐ活動をしていくことになります。

結果には原因があります。原因を突き詰めていくことになります。原因は「要因」と「体質」に分かれます。

結果につながる要因が解っても、それを正しく、迅速に伝える体質になっているか。無視したり、隠したり、改ざんしたりするとその場はいいですが、あとで大きなしっぺ返しがきます。

いい体質にしていく習慣が大事です。



一口メモ
知識

予期せぬ成功と失敗

事業の定義が有効でなくなったことを示す兆候は2つある。1つは、自らのものであれ、競争相手のものであれ、予期せぬ成功である。もう1つは、同じく自らのものであれ、競争相手のものであれ、予期せぬ失敗である。

デトロイトのピックアップが、日本車に打ちのめされていたまさにそのとき、クライスラーが、予期せぬ成功をおさめた。乗用車は急速にシェアを失っていたが、ミニバンとジープが急激な伸びを示した。当時、GMは軽トラック市場で業界トップにあったが、クライスラーの成功に注意を払わなかった。軽トラックやミニバンは、乗用車として購入したにもかかわらず、統計上は商用車に分類されていた。

もし、GMがクライスラーの成功に目を向けていたならば、自動車市場の区分や自らの強みについての前提が効力を失っていることに気づいたかもしれない。

予期せぬ失敗は、予期せぬ成功と同じように、事業の定義の陳腐化を示唆する重大な兆候である。

P.F.ドラッカー 「チェンジ・リーダーの条件」より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週水曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

